

104-76

問題文

製造物責任法の対象にならないのはどれか。1つ選べ。ただし、免責事由はないものとする。

1. 一般用医薬品
2. 血液製剤
3. 要指導医薬品
4. 薬局製造販売医薬品
5. 調剤された薬剤

解答

5

解説

調剤された薬剤 は、PL 法における製造物ではありません。調剤の過誤による健康被害に関しては、PL 法ではなく、民法及び、刑法によって責任を追求されることがあります。ちなみに 院内製剤 も PL 法の適用を受けません。 **PL法適用を受けるのは、薬局製造販売医薬品** などです。

以上より、正解は 5 です。

参考)